

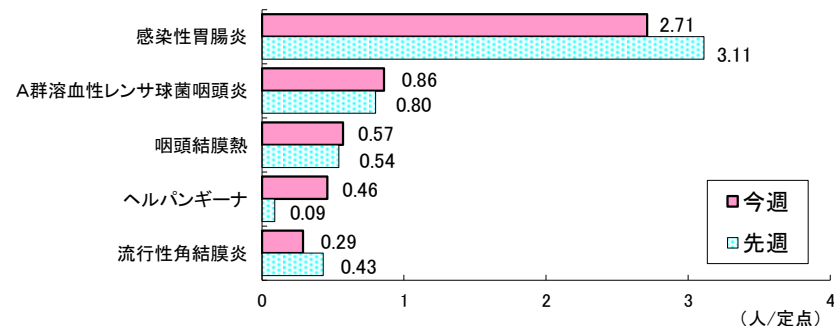


【第27週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で13%減少しています。保健所別では、大館、横手で増加、能代、秋田中央、由利本荘で同規模、秋田市、北秋田、大仙、湯沢で減少しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で8%増加しています。保健所別では、秋田市、能代、横手、湯沢で増加、由利本荘で同規模、秋田中央、大仙で減少しています。
3. 咽頭結膜熱は、県全体で6%増加しています。保健所別では、大館、秋田中央で増加、秋田市、湯沢で同規模、由利本荘、大仙で減少しています。

秋田県の定点医療機関における主要5疾患の発生規模



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減	第26週	第27週	増減			
RSウイルス感染症	0.09	0.06	↘	0.14	0.29	↗									0.25		↘	0.25		↘										
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.54	0.57	↗	0.71	0.71		1.50	2.00	↗						0.75	↗		0.75		↘	0.75	0.50	↘				0.50	0.50		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.80	0.86	↗	1.57	2.14	↗							0.67	↗	2.50	1.50	↘	0.25	0.25		0.75	0.25	↘		0.33	↗	0.75	1.00	↗	
感染性胃腸炎	3.11	2.71	↘	3.71	2.86	↘	4.50	6.25	↗	4.50	2.50	↘	4.67	4.67		1.25	1.25		0.50	0.50		0.75	0.50	↘	2.00	3.67	↗	6.50	2.75	↘
水痘	0.29	0.20	↘	0.14	0.29	↗	0.25		↘						1.00	0.50	↘										1.00	0.75	↘	
手足口病	0.03	0.09	↗	0.14	0.14														0.50		↗									
伝染性紅斑	0.03	0.06	↗												0.25	↗								0.33	0.33					
突発性発しん	0.43	0.23	↘	0.29	0.43	↗	1.00	0.25	↘	1.00		↘	0.33		↘				0.50		↘	0.25	0.75	↗	0.33	0.33		0.50		↘
ヘルパンギーナ	0.09	0.46	↗		0.29	↗				1.00		↘		0.33	↗								2.75	↗	0.33	0.67	↗			
流行性耳下腺炎	0.14	0.06	↘		0.14	↗	0.75	0.25	↘													0.50		↘						
川崎病																														
急性出血性結膜炎		0.14	↗							*	*		*	*	*	*									1.00	↗	*	*		
流行性角結膜炎	0.43	0.29	↘	0.33	0.67	↗				*	*		*	*	*	*								2.00		↘	*	*		
細菌性髄膜炎	0.13		↘												*	*		1.00		↘										
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎	1.75	1.88	↗	2.00	2.00					4.00	5.00	↗			*	*		1.00		↘	1.00		↘		1.00	↗	6.00	7.00	↗	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.63	0.25	↘				1.00		↘						*	*									1.00	↗	4.00	1.00	↘	

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、大館保健所管内から1人、報告されました。
 ・五類感染症の梅毒が秋田市保健所管内から1人、横手保健所管内から1人、報告されました。
 ・五類感染症の百日咳が秋田市保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-26週		27週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	10426	57	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
鳥インフルエンザ(H7N9)				
三類	コレラ	2		
	細菌性赤痢	89		
	腸管出血性大腸菌感染症	984	3	
	腸チフス	18		
	バラチフス	10		
四類	E型肝炎	202		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	472		
	エキノкокクス症	6		
	黄熱			
	オウム病	4		
	オムスク出血熱			
	回帰熱			
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	38		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎	1		
	炭疽			

類型	疾患名	1週-26週		27週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	1		
	つつが虫病	88	2	
	デング熱	62		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	87		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	2		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症	3		
	マラリア	23		
	野兔病			
ライム病	1			
リッサウイルス感染症				
リフトバレー熱				
類鼻疽	1			
レジオネラ症	785	1		
レプトスピラ症	2			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	408		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	100	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	814	4	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	10		
	急性脳炎	377	5	
	クリプトスポリジウム症	10		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	103	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	387	5	
	後天性免疫不全症候群	618		
	ジアルジア症	39		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	248	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	21		
	侵襲性肺炎球菌感染症	2002	11	
	水痘(入院例に限る)	211	5	
	先天性風しん症候群			
	梅毒	3236	4	2
	播種性クリプトコックス症	87		
	破傷風	50		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	26		
	百日咳	2813	18	1
	風しん	43		
	麻しん	176		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	9			

トピックス

<咽頭結膜熱について>

咽頭結膜熱は、アデノウイルスによって高熱や喉の痛み、結膜炎等をおこす感染症です。子どもに多くみられ、プールを利用した際にタオルの共用などで感染するケースもあることから「プール熱」とも呼ばれています。例年、6月頃から徐々に流行し始め、7月~8月にピークとなりますが、今年は本県を含めて全国的に、定点あたり報告数が4月中旬以降、増加傾向になっています(図)。

■アデノウイルスとは

アデノウイルスには数多くの型がありますが、咽頭結膜熱は主に3型(他に4、7、11型など)に感染することで発症します。ウイルスは、患者の鼻汁、唾液、眼脂のほか、ふん便にも排出されます。そのため、飛沫感染のほか、手指やタオルを介した接触感染でも拡がります。症状が治まった後も数週間はウイルスの排出が続きますので、注意が必要です。

■咽頭結膜熱の症状

5~7日の潜伏期間の後に発熱し、咽頭痛や全身倦怠感等に加え、結膜の充血や目の痛み、眼脂などの目の症状が現れます。これらの症状は3~5日間ほど続き、感染した型の違いによって、一度治っても再感染することがあります。

■治療・予防について

咽頭結膜熱には予防接種や特別な治療法はなく、対症療法が中心となります。ほとんどの場合は自然に治りますが、眼の症状が強いときには、眼科の治療が必要となる場合もあります。

患者との接触を避ける、手洗いやうがいを徹底する、プールや水遊びの前後にシャワーを浴びる、タオルの共用はしないなどの感染予防を心がけましょう。

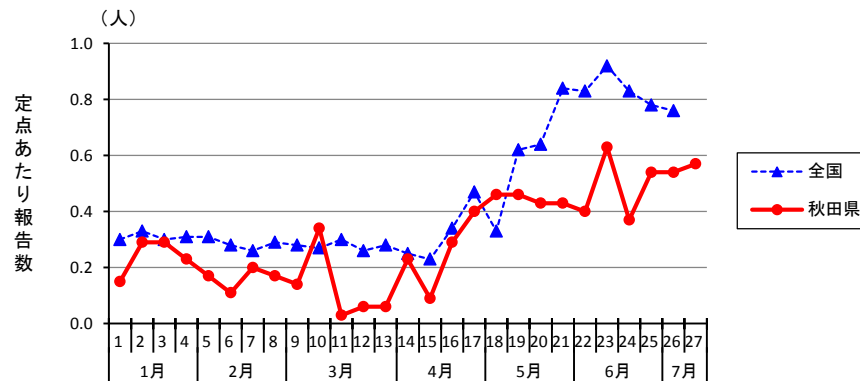


図 咽頭結膜熱患者の定点あたり報告数の推移
 -2018年の全国(第26週まで)と秋田県(第27週まで)-



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
急性出血性結膜炎	-	横手(1.00)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	4	7	4	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大湯村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		